

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 古家賢一 副委員長 梶川嘉延・松井健太郎
幹事 小山翔一・加古達也 幹事補佐 若林佑幸・小松達也

日時 12月14日(月) 9:15~17:00

会場 オンライン開催(秋田昌憲(大分大))

議題 応用/電気音響, 一般

午前(9:15~10:30)

1. Blind Source Separation Based on Frequency, Time, and Direction of Arrival Sparseness Takahiro Ushijima (Oita Univ.)・○Yuuki Tachioka (Denso IT Lab.)・Shingo Uenohara・Ken'ichi Furuya (Oita Univ.)
2. ライブコンサートでの使用を目的とした音源分離手法 ○山田諒太郎・高橋弘太(電通大)
3. Speech Signal Detection Based on Bayesian Estimation by Observing Air-Conducted Signal under Existence of Background Noise with Aid of Bone-Conducted Signal ○Akira Ikuta・Hisako Orimoto (Prefectural Univ. of Hiroshima)・Kouji Hasegawa (Hiroshima Prefectural Technology Research Inst.)

(10:45~12:00)

4. 2マイクロホンと信号処理に基づく天井クレーンの振れ角計測 ○小川花子・山田 武・中本昌由(広島大)
5. マルチコプター型ドローンに装着した小型マイクロホンにおける同軸2極ナルビームフォーミングの可能性と性能検証—安価で軽量な収音方法の試み— ○金子 格(名古屋市大)・諏訪部翔平・佐々木一樹(専修大)
6. Filtered-x法のための高周周騒音下における低減効果向上法に関する検討
○藤井健作(コダウエイ研)・棟安実治(関西大)・荻木禎史(千葉工大)

午後(13:00~14:15)

7. 重要帯域を自動判定する音信号混合法 ○幅 優貴・高橋弘太(電通大)
8. 照射点指示インターフェースを搭載したパラメトリックスピーカステアリングシステム
○金城翔太・藤原真也・藤岡豊太・永田仁史(岩手大)
9. マスクが日本語母音の発音に及ぼす影響の観測法 ○秋田昌憲・工藤悠夏・伊藤智史・緑川洋一(大分大)
10. 脳波を用いたハイレゾリューションオーディオ知覚の調査 ○谷本典之・福田祐樹・石光俊介(広島市大)
11. 結合音を用いた自動車加速音のデザインに関する検討 ○油木 悠・山際納月・谷本典之・石光俊介(広島市大)・藤川智士・松本貞典(マツダ)・村上奏樹(大島商船高専)
12. 家畜の体内伝導音を用いた罹患判定法の検討 ○土屋和也・石光俊介・森長佳子・成 亦兵・成澤健太・飯島聡志・中山仁史(広島市大)・三上 修・高木道浩・井上寛暁(農研機構)

(16:00~17:00)

13. [招待講演] スポーツと音・音響学—スポーツ音響調査研究委員会の活動—
○大鶴 徹(大分大)・上田麻理(神奈川工科大)

◆日本音響学会; 電気音響研究会共催, IEEE SPS Tokyo Joint Chapter, APSIPA Japan Chapter 協賛

【問合先】

加古達也 (NTT)

E-mail: tatsuya.kako.tx@hco.ntt.co.jp

◎最新の情報は研究会 Web ページで御確認下さい.

<http://asj-eacom.acoustics.jp/>